

Q&A

Q

クビアカツヤカミキリの被害実態の把握は



あき 哲 湯もと 本



映像はこちらから

A 市民からの情報に基づき集計の取りまとめをしている

●市民の防災意識の醸成についての考え方を知りたい

Q 市内の「自然災害の伝承碑」の把握はできているのか。

A 令和3年に県から発行された災害伝承碑マップによると、4カ所の自然災害伝承碑があり、大寄、八基地区に存在する。主に天明年間の浅間山大噴火後の飢饉などの伝承碑である。市内の災害履歴も1923年発生に関東大震災をはじめ地震履歴とともに、風水害についても今までの被害状況を整理して「深谷市地域防災計画」に反映している。



大寄鷲宮神社にある自然災害伝承碑

Q

かわもと郷土かるたの利用について



おかし 仁 岡



映像はこちらから

A 修繕が必要なものは対応する

用されている。車との安全性をどう考えているのか。

A 通学路に関しては概ね5年ごとに各学校で「通学路安全総点検」により抽出されたものに対し区画線等の設置や転落防止柵の設置などを実施している。また自治会からの要望によりグリーンベルトなどの路面表示の設置も実施している。

Q 色付けだけでなく音の出る物（メロディーライン等）の設置での自動車運転者への意識づけなどは出来ないか。

A メロディーライン等の設置は、近隣の騒音にもなり通学路の安全対策としては適さない。



かわもと郷土かるた

Q&A

Q

将棋のタイトル戦誘致に向けた市の対応は



おやし 徳 浩 村川 ミルク



映像はこちらから

A タイトル戦を主催する新聞社に来ていただく

●3市連携の花火大会について

Q 伊勢崎市と本庄市は、単独の花火大会の開催を見送るとしている。深谷市では、川本地区の深谷花火大会とコスモス祭りの花火大会が開催され、各実行委員会に対して、補助金300万円と400万円が交付される予定である。市は、3市連携花火大会の費用負担1、500万円をどのように考えているのか。

A 財源措置の方法については、現在検討中である。

Q

将棋のタイトル戦誘致に向けた市の対応は



おやし 徳 浩 村川 ミルク



映像はこちらから

A タイトル戦を主催する新聞社に来ていただく

投票を呼びかけたという回答が多く寄せられた。効果が有ったと考えるが、内容を良く検証して判断する。

●3市連携の花火大会について

Q 伊勢崎市と本庄市は、単独の花火大会の開催を見送るとしている。深谷市では、川本地区の深谷花火大会とコスモス祭りの花火大会が開催され、各実行委員会に対して、補助金300万円と400万円が交付される予定である。市は、3市連携花火大会の費用負担1、500万円をどのように考えているのか。

A 財源措置の方法については、現在検討中である。

Q&A

Q

ネギーチャレンジについて

A アンケートによると、ネギーチャレンジを知って投票に行った、



深谷市地域通貨ネギーPRソング

地域通貨ネギー PR ソング

Q

かわもと郷土かるたの利用について



おかし 仁 岡



映像はこちらから

A 修繕が必要なものは対応する

用されている。車との安全性をどう考えているのか。

A 通学路に関しては概ね5年ごとに各学校で「通学路安全総点検」により抽出されたものに対し区画線等の設置や転落防止柵の設置などを実施している。また自治会からの要望によりグリーンベルトなどの路面表示の設置も実施している。

Q 色付けだけでなく音の出る物（メロディーライン等）の設置での自動車運転者への意識づけなどは出来ないか。

A メロディーライン等の設置は、近隣の騒音にもなり通学路の安全対策としては適さない。

Q

桃太郎電鉄教育版を市内小中学校に導入してはどうか



のり 徳 義 田 角



映像はこちらから

A 有益適切な教材として使うことができるか検討する

桃太郎電鉄の教育版を使った授業では、生徒たちは自主的に学び、コミュニケーションや論理的思考も養えるという報告がある。このようなエディテインメント（教育と娯楽の融合）の可能性について、市教育委員会はどのように考えているか。

A 娯楽要素がある教育コンテンツを指すものであり、教育テレビや歴史漫画等、以前から学校の中では多く利用されてきた。「楽しみながら学ぶ」「子供の学び意欲をかきたて、自発的な学習の入口とする」とことは、今後とも学校教育において大切にしていきたい要素だが、その際、学校教育、授業においてどのような力を育んでいくか、その目的を明確にした上で、有効な方法として取り入れていくことが肝要である。

桃太郎電鉄の教育版を市内の小中学校に導入する予定はあるか。

桃太郎電鉄の教育版は、令和5年1月末より教育機関に向けて無償でリリースされたデジタル教材である。学校単位での利用申請ができることから、深谷市教育委員会として市立全小中学校への一括導入は行っており、各学校で独自にインストールしているアプリ等と同様に、無償で使える一つのコンテンツとして扱い、導入に規制をかけてはいない。現状としては、市内中学校1校が、学校単位で利用申請をしている状況であるので、実践した学校の意見を聞いた上で、有益適切な教材として使うことができるかどうか、今後検討してまいりたい。

